

## 議 事 日 程 第 1 号

平成28年9月2日（金）午前10時開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 報第12号 平成27年度米沢市一般会計継続費精算報告書の報告について
- 日程第 4 報第13号 平成27年度の決算に基づく米沢市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
- 日程第 5 報第14号 専決処分事件の報告について
- 日程第 6 議第65号 米沢市教育委員会委員の任命について
- 日程第 7 認第 1号 平成27年度米沢市一般会計歳入歳出決算
- 日程第 8 認第 2号 平成27年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算
- 日程第 9 認第 3号 平成27年度米沢市後期高齢者医療費特別会計歳入歳出決算
- 日程第10 認第 4号 平成27年度米沢市介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算
- 日程第11 認第 5号 平成27年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計歳入歳出決算
- 日程第12 認第 6号 平成27年度米沢市青果物地方卸売市場費特別会計歳入歳出決算
- 日程第13 認第 7号 平成27年度米沢市下水道事業費特別会計歳入歳出決算
- 日程第14 認第 8号 平成27年度米沢市農業集落排水事業費特別会計歳入歳出決算
- 日程第15 認第 9号 平成27年度米沢市物品調達費特別会計歳入歳出決算
- 日程第16 認第10号 平成27年度米沢市南原財産区費特別会計歳入歳出決算
- 日程第17 認第11号 平成27年度米沢市三沢東部財産区費特別会計歳入歳出決算
- 日程第18 認第12号 平成27年度米沢市水道事業会計決算
- 日程第19 認第13号 平成27年度米沢市立病院事業会計決算
- 日程第20 議第66号 米沢市病院事業の設置等に関する条例及び米沢市立病院使用料及び手数料条例の一部改正について
- 日程第21 議第67号 市道路線の認定について
- 日程第22 議第68号 平成28年度米沢市一般会計補正予算（第4号）
- 日程第23 議第69号 平成28年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）
- 日程第24 議第70号 平成28年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）
- 日程第25 議第71号 平成28年度米沢市立病院事業会計補正予算（第1号）
- 日程第26 議第72号 平成27年度米沢市水道事業会計剰余金の処分について

本日の会議に付した事件

議事日程第 1 号と同じ

出欠議員氏名

出席議員（24名）

1 番	木	村	芳	浩	議員	2 番	相	田	克	平	議員	
3 番	島	貫	宏	幸	議員	4 番	小	島		一	議員	
5 番	佐	藤	弘	司	議員	6 番	山	田	富	佐子	議員	
7 番	相	田	光	照	議員	8 番	成	澤	和	音	議員	
9 番	中	村	圭	介	議員	10 番	鈴	木	藤	英	議員	
11 番	皆	川	真	紀子	議員	12 番	堤		郁	雄	議員	
13 番	島	軒	純	一	議員	14 番	鳥	海	隆	太	議員	
15 番	佐	藤	忠	次	議員	16 番	山	村		明	議員	
17 番	工	藤	正	雄	議員	18 番	齋	藤	千	恵子	議員	
19 番	海	老	名	悟	議員	20 番	高	橋	英	夫	議員	
21 番	高	橋		壽	議員	22 番	小	久	保	広	信	議員
23 番	太	田	克	典	議員	24 番	我	妻	德	雄	議員	

欠席議員（なし）

出席要求による出席者職氏名

市	長	中	川	勝	副	市	長	井	戸	將	悟							
総	務	部	長	須	佐	達	朗	企	画	調	整	部	長	我	妻	秀	彰	
市	民	環	境	部	長	菅	野	紀	生	健	康	福	祉	部	長	堤	啓	一
産	業	部	長	山	口	昇	一	建	設	部	長	杉	浦	隆	治			

会計管理者	神田 仁	総務課長	安部 道夫
財政課長	後藤 利明	総合政策課長	渡辺 勅孝
上下水道部長	穴戸 義宣	病院事業管理者	渡邊 孝男
市立病院 事務局長	加藤 智幸	教育長	大河原 真樹
教育管理部長	船山 弘行	教育指導部長	佐藤 哲
農業委員会会長	伊藤 精司	農業委員会 事務局長	町田 和利
選挙管理委員会 委員長	小林 栄	選挙管理委員会 事務局長補佐	宮本 秀行
代表監査委員	大澤 悦範	監査委員 事務局長	宇津江 俊夫

出席した事務局職員職氏名

事務局長	高野 正雄	事務局次長	三原 幸夫
庶務係長	金子 いく子	議事調査係長	青木 重雄
主任	渡部 真也	主任	我妻 政仁

平成28年9月定例会日程

会期	月日	曜日	開議時刻	会議名	場所	上程・付託			運営
						議案	発議	請願	
1	9/2	金	午前10時	本会議	本会議場	24		2	議案上程説明 総括質疑、議案付託 請願付託
			本会議終了後	議会運営委員会	委員会室				追加議案の取り扱いについて
2	9/3	土		休 会					
3	9/4	日		休 会					
4	9/5	月		休 会					
5	9/6	火	午前10時	本会議	本会議場				一般質問
6	9/7	水	午前10時	本会議	本会議場				一般質問
7	9/8	木	午前10時	本会議	本会議場	2			一般質問 追加議案上程、付託
8	9/9	金		休 会					
9	9/10	土		休 会					
10	9/11	日		休 会					
11	9/12	月	午前10時	決算特別委員会	委員会室	14			議案審査
12	9/13	火	午前10時	決算特別委員会	委員会室				議案審査
13	9/14	水	午前10時	決算特別委員会	委員会室				議案審査
14	9/15	木	午前10時	決算特別委員会	委員会室				議案審査
15	9/16	金	午前10時	総務文教常任委員会	委員会室			1	請願審査
16	9/17	土		休 会					
17	9/18	日		休 会					
18	9/19	月		休 会					(敬老の日)
19	9/20	火	午前10時	民生常任委員会	委員会室	1		1	議案審査、請願審査
20	9/21	水	午前9時	産業建設常任委員会	委員会室	2			現地調査、議案審査
21	9/22	木		休 会					(秋分の日)
22	9/23	金	午前10時	予算特別委員会	委員会室	5			議案審査
23	9/24	土		休 会					
24	9/25	日		休 会					
25	9/26	月	午前10時	市立病院建替特別委員会	委員会室				所管調査
26	9/27	火	午前10時	議会運営委員会	委員会室				発議の取り扱い 日程協議
27	9/28	水		休 会					
28	9/29	木	午前10時	本会議	本会議場				決算特別委員長報告 各常任委員長報告 予算特別委員長報告 発議

午前10時01分 開会・開議

○海老名 悟議長 おはようございます。  
ただいまの出席議員24名であります。  
去る8月26日に招集告示されました平成28年9月定例会はここに成立いたしました。  
ただいまから平成28年米沢市議会9月定例会を開会いたします。  
直ちに本日の会議を開きます。  
本日の会議は議事日程第1号により進めます。

#### 日程第1 会議録署名議員の指名

○海老名 悟議長 日程第1、会議録署名議員の指名であります。会議規則第88条の規定により指名いたします。  
8番 成澤和音 議員  
16番 山村明 議員  
17番 工藤正雄 議員  
以上3名の方をお願いいたします。

#### 日程第2 会期の決定

○海老名 悟議長 次に、日程第2、会期の決定を議題といたします。  
お諮りいたします。  
本定例会の会期を本日から9月29日までの28日間と定めたいと存じますが、御異議ありませんか。  
〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○海老名 悟議長 御異議なしと認めます。  
よって、本定例会の会期は本日から9月29日までの28日間と決定いたしました。

#### 日程第3 報第12号平成27年度米沢市一般会計継続費精算報告書の報告について外2件

○海老名 悟議長 次に、日程第3、報第12号平成27年度米沢市一般会計継続費精算報告書の報告についてから日程第5、報第14号専決処分事件の報告についてまでの議案3件は、議事の都合により一括議題といたします。  
御質疑ありませんか。  
〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○海老名 悟議長 質疑を終結いたします。  
本件は報告事項でありますので、御了承願います。

#### 日程第6 議第65号米沢市教育委員会委員の任命について

○海老名 悟議長 次に、日程第6、議第65号米沢市教育委員会委員の任命についてを議題といたします。  
この場合、市長から提案理由の説明を願います。  
中川市長。  
〔中川 勝市長登壇〕

○中川 勝市長 おはようございます。  
ただいま上程になりました議第65号米沢市教育委員会委員の任命について説明いたします。  
本市教育委員会委員の小野弘子氏は来る9月30日その任期が満了となりますが、その後任として佐藤晃代氏を同委員に任命したく、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意を求めため提案するものであります。  
何とぞ御同意賜りますようお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。

○海老名 悟議長 ただいまの市長説明に対し御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○海老名 悟議長 質疑を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

議第65号に同意することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○海老名 悟議長 御異議なしと認めます。よって、議第65号は同意することに決まりました。



#### 日程第7 認第1号平成27年度米沢市一般会計歳入歳出決算外19件

○海老名 悟議長 次に、日程第7、認第1号平成27年度米沢市一般会計歳入歳出決算から日程第26、議第72号平成27年度米沢市水道事業会計剰余金の処分についてまでの議案20件は、議事の都合により一括議題といたします。

この場合、市長から提案理由の説明を願います。

中川市長。

〔中川 勝市長登壇〕

○中川 勝市長 ただいま上程になりました認第1号から認第13号まで及び議第66号から議第72号までの20案件について説明いたします。

初めに、認第1号平成27年度米沢市一般会計歳入歳出決算について説明いたします。

歳入総額は386億9,106万3,452円であり、前年度と比較して4,803万5,566円増加いたしました。

主な内容としましては、少雪の影響などにより財政調整基金や公共施設等整備基金などの基金繰入金大幅に減少した一方、ふるさと応援寄附金が大幅に増加したほか、地方消費税交付金も増加しました。

歳出総額は370億7,393万8,466円であり、前年度と比較して1億6,160万4,659円増加しました。

主な内容としましては、第1款議会費では、前年度に引き続き委員会等動画をインターネット配信し、第2款総務費では、新文化複合施設の整備を進めるとともに、ふるさと応援寄附金制度の推進を図りました。

第3款民生費では、子育て支援医療給付事業の外来診療の対象者を中学3年生まで拡大したほか、障がい者福祉を初めとした福祉サービス利用者の増加に対応したところです。

第4款衛生費では、定期予防接種や乳幼児健診を実施したほか、一般廃棄物等の適正な処理を行ったところです。

第5款労働費では、雇用の安定や労働福祉の向上に取り組み、第6款農林水産業費では、担い手・農地総合対策の推進、多面的機能支払交付金事業により地域における農地等の保全や施設の長寿命化等の支援を行いました。

第7款商工費では、有機エレクトロニクスイノベーションセンター等の運営支援を初めとする産業振興施策を推進したほか、観光客誘致事業や観光施設の整備を行い、観光の振興を図ったところです。

第8款土木費では、市道及び流雪溝などの計画的整備を推進し、第9款消防費では、常備消防に係る分担金を支出したほか、仮称米沢消防署南西部分署建設に伴う用地の取得を行いました。

第10款教育費では、第四中学校増改築事業を前年度に引き続き実施したほか、新図書館開設に向けた準備事業を実施したところです。

その結果、歳入歳出差引残額は16億1,712万4,986円となり、平成28年度に繰り越したところです。

次に、認第2号平成27年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算から認第11号平成27年度米沢市三沢東部財産区費特別会計歳入歳出決算までについて説明いたします。

特別会計は10会計あり、それらの歳入総額は225億6,528万3,891円で、前年度と比較し10億2,691

万4,515円の増加となりました。

一方、歳出総額は220億7,014万6,040円で、前年度と比較して10億1,320万324円の増加となったところです。

個々の特別会計において生じた歳入歳出差引残額は、平成28年度に繰り越したところです。

次に、認第12号平成27年度米沢市水道事業会計決算について説明いたします。

水道事業につきましては、施設整備の面では、前年度と同様に老朽管の更新や給・配水管の布設及び布設がえなどを行い、耐震化と漏水防止を図るとともに、安定供給に努めました。

経営の面では、節水型機器の普及や暖冬などの影響により有収水量が減少し、給水収益が前年度より減少したことにより、収益全体としては前年度に比べ2,735万9,235円減少の19億8,871万2,879円となりました。

支出については、効率的な事業経営に努めたことに加え、地方公営企業会計制度の見直しに伴い、一時的に増加した費用の影響がなくなったことにより、前年度に比べ2億1,700万6,157円減少の16億602万4,946円となりました。

この結果、純利益は前年度に比べ1億8,964万6,922円増加の3億8,268万7,933円となりました。

次に、認第13号平成27年度米沢市立病院事業会計決算について説明いたします。

病院事業につきましては、患者数は減少したものの、患者1人の1日当たりの診療収益が増加したため、入院収益及び外来収益がともに増加し、収益は前年度に比べ2億1,319万7,494円増加の71億7,834万5,496円となりました。

支出については、給与費及び材料費が増加したものの、地方公営企業会計制度見直しに伴い、初年度に特別損失として計上した退職給付引当金等の引き当ての影響が少なくなったことにより、前年度に比べ25億4,904万8,475円減少の76億2,136万5,798円となりました。

この結果、当期については、前年度に比べ27億

6,224万5,969円損失が減少した4億4,302万302円の純損失となり、3年連続の赤字決算となりました。

以上、平成27年度米沢市一般会計及び特別会計歳入歳出決算並びに公営企業会計決算の概要について説明いたしました。

なお、本認定は、地方自治法第233条第3項及び地方公営企業法第30条第4項の規定により、監査委員の審査意見書をつけて認定に付するものであります。

各会計決算書、市監査委員の審査意見書及び関係説明資料については既に配付しておりますので、これらの資料によりよろしく御審議の上、御認定賜りますようお願い申し上げます。

次に、議第66号米沢市病院事業の設置等に関する条例及び米沢市立病院使用料及び手数料条例の一部改正について説明いたします。

本案は、病院事業の附帯事業として訪問看護事業を開始することに伴う所要の改正を行うため提案するものであります。

次に、議第67号市道路線の認定について説明いたします。

本案は、一般申請に伴い2路線をそれぞれ新規認定するため提案するものであります。

次に、議第68号から議第71号までの補正予算4案件について説明いたします。

議第68号平成28年度米沢市一般会計補正予算(第4号)は、国、県からの事業内示のほか、ふるさと応援寄附金関係経費など、緊急に補正を必要とする事業費として14億7,885万9,000円を増額補正しようとするものであり、この結果、補正前と合わせた一般会計の予算総額は380億4,940万6,000円となりました。

主な補正内容を説明いたしますと、総務費において、ふるさと応援寄附金の返礼品に要する経費や平成27年度歳計剰余金の財政調整基金への積み立てなどに要する経費として13億535万3,000円を増額しようとするほか、民生費におきまして、保

育所等業務効率化推進事業費補助金や過年度国県支出金返還金などに要する経費として1億4,370万円を、農林水産業費におきましては、産地パワーアップ事業費補助金や中山間地域水田農業活性化事業費補助金に要する経費として1,287万5,000円を、商工費におきましては、天元台高原つがもりロマンスリフトの通信ケーブル張りかえに要する経費として1,058万4,000円をそれぞれ増額しようとするものであります。

これらに伴う財源といたしましては、特定財源として国県支出金や寄附金などを増額補正するほか、一般財源として前年度繰越金や普通交付税などを増額補正するとともに、財政調整基金繰入金を減額補正しようとするものであります。

次に、特別会計であります。議第69号平成28年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）につきましては、国民健康保険給付基金積立金や過年度国県支出金返還金に要する経費として2億7,200万7,000円を、議第70号平成28年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）につきましては、介護保険給付基金積立金や過年度国県支出金返還金などに要する経費として1億5,178万8,000円をそれぞれ増額補正しようとするものであります。

次に、企業会計であります。議第71号平成28年度米沢市立病院事業会計補正予算（第1号）につきましては、訪問看護ステーション事業に要する経費を増額補正しようとするものであります。

次に、議第72号平成27年度米沢市水道事業会計剰余金の処分について説明いたします。

本案は、平成27年度に生じた水道事業の剰余金を処分しようとするため提案するものであります。

以上、提案いたしました各議案につきまして、よろしく御審議の上、御賛同賜りますようお願い申し上げます、提案理由の説明といたします。

○海老名 悟議長 ただいま市長から提案理由の説明がありました議案のうち、認第1号から認第13号までの13件に関して、監査委員から提出されて

おります決算審査意見書の説明を願います。大澤代表監査委員。

〔大澤悦範代表監査委員登壇〕

○大澤悦範代表監査委員 おはようございます。

ただいま上程されました認第1号平成27年度米沢市一般会計歳入歳出決算から認第13号平成27年度米沢市立病院事業会計決算までの決算審査の概要につきまして、監査委員を代表して御説明申し上げます。

このたびの決算審査意見は、例年どおり一般会計及び特別会計と公営企業会計とに分けて決算審査意見書に取りまとめておりますが、この場では主に決算審査意見書の「むすび」に記載した中から要点を読み上げ、説明とさせていただきます。なお、金額は1,000円単位までの読み上げといたします。

初めに、一般会計・特別会計の決算及び基金運用状況審査について申し上げます。

審査の結果につきましては、審査に付された各会計の決算及び附属書類並びに基金の運用状況を示す書類は、法令に準拠して処理されており、かつ計数は正確であり、予算の執行についても適正であると認められました。

続いて、決算の概要について、米沢市一般会計・特別会計決算及び基金運用状況審査意見書の64から66ページに記載しました「むすび」を要約して御説明いたします。

平成27年度の一般会計と特別会計を合わせた決算規模は、歳入が612億5,634万7,000円、歳出が591億4,408万5,000円でありました。

一般会計の歳入決算額は386億9,106万3,000円で、前年度に比べ4,803万6,000円増加し、歳出決算額も370億7,393万8,000円で、前年度に比べ1億6,160万5,000円の増加となっています。

財政収支の状況は、形式収支額が歳入歳出の決算額の差引残額16億1,712万5,000円となり、続いて実質単年度収支額が10億2,788万4,000円の黒字、さらに最終的な修正実質単年度収支額は10億

4,613万8,000円の黒字となりました。

これは、平成24年度から前年度まで3年連続していた赤字が転じての黒字計上であり、4年ぶりの良好な決算となりました。

一般会計における収入未済額は、一般会計歳入の根幹となる市税で見ると5億447万5,000円で、前年度に比べ6,418万5,000円減少しております。過年度分の徴収とともに現年課税分の発生額もほぼ全税目で減少しており収納率向上のための取り組み成果が見られます。

また、同じく市税における不納欠損額は3,693万4,000円で、前年度に比べ3,335万1,000円減少し、ほぼ半減となっています。

次に、特別会計の歳入決算額は225億6,528万4,000円、歳出決算額は220億7,014万6,000円で、歳入歳出差引残高は4億9,513万8,000円となり、前年度に比べ1,371万4,000円の増加となっています。

特別会計における収入未済額は、主となる国民健康保険事業勘定特別会計の国民健康保険税で見ると9億1,541万6,000円で、前年度に比べ5,385万3,000円減少しており、継続的な収納率向上の努力が見られますが、引き続き負担の公平性や歳入確保の観点から収納率向上に一層の取り組みを要望いたします。

続いて、普通会計における財務指標のうち、経常収支比率を見ると、経常一般財源収入が前年度に比べ2億900万円増加し、さらに歳出充当経常一般財源が14億6,000万円減少したことから、前年度に比べ8.0ポイントも大幅に改善した90.1%となり、財政構造の硬直化が和らいだ結果となりました。

一般会計・特別会計決算審査のまとめとしまして、前年度決算については、一般会計の最終的な収支となる修正実質単年度収支額が24年度から3年連続して赤字になったことから、憂慮すべき状況が深刻度を増していると評し財政健全化の取り組みはまさに喫緊の課題であるとしましたが、当

年度は米沢市財政健全化計画の立案と一部実践もあって修正実質単年度収支額が4年ぶりの黒字となり、しかもその黒字額が10億4,613万8,000円という近年になく大きな額で、10億円超となったのは平成2年と平成11年度に次いで3回目であることから、単に黒字転換するだけではない良好な結果と言えます。

ただし、当年度決算は、職員給与減額や退職者が少なかったことによる人件費の削減、少雪による除排雪経費の減少、ふるさと納税寄附金の大幅な増加など、一部幸運とも言える収支増減があつての結果でもあり、安定した健全財政とは言いがたいことから、当年度の好決算を手放しで喜んではいられないと思料いたします。

平成28年度から平成32年度まで5カ年にわたり本格実施される米沢市財政健全化計画に基づく財政基盤安定化のための改善策を実践することにより、健全な財政状態の実現・安定維持を図り、市民の信頼と期待に応えられることを切に望むものです。

次に、公営企業会計決算について申し上げます。

審査の結果につきましては、水道事業会計、病院事業会計ともに審査に付された決算報告書及び財務諸表は、地方公営企業関係法令に準拠して調製され、経営成績並びに財政状態を適正に表示しており、決算の計数については正確であり、また予算の執行についても適正であると認められました。

続いて、米沢市公営企業会計決算審査意見書の27から28ページに記載しました水道事業会計の「むすび」から決算の概要を御説明いたします。

当年度は、年間総配水量、年間総有収水量ともに前年度より減少しましたが、濁り解消のための事業用水量が大幅に減少したため、有収率は87.14%と前年度より1.37ポイント上がり、高い数値を維持しています。

経常収益は19億8,871万3,000円で前年度より2,735万9,000円減少し、経常費用は16億602万

5,000円で88万円増加しました。その結果、経常利益は前年度より2,824万円減少した3億8,268万8,000円となりました。

当年度は特別損失がなく経常利益が当年度純利益となり、前年度より1億8,964万7,000円の利益増となっていますが、前年度の当期純利益は会計制度変更に伴う一時的な減益額1億7,976万8,000円の影響を受けた額であるため、この分を加算した純利益との比較では、前年度に比べ当期純利益額は実質987万9,000円の増加と算出されます。

経営分析指標では、構成比率が全比率でほぼ横ばい、財務比率は全比率が良化、収益率は総収支比率が良化、ほかは横ばいと、全ての比率が前年度に比べ良化あるいはほぼ横ばいとなっており、望ましいとされる基準値をクリアした良好な状態を持続しております。

前年度決算は、会計制度変更に伴う一時的な影響により旧制度に比べ収益面で大きな減益となる影響額を含んだ決算数値でしたが、当年度決算は通常ベースに戻った決算となりました。

当年度純利益3億8,268万8,000円は、会計制度変更がなかったと仮定した場合の前年度純利益3億7,280万9,000円と比べ987万9,000円の利益増となっており、給水収益が前年度に比べ2,412万4,000円減少した中で当期純利益が増加となった決算数値を評価するものです。

ただ、長期的には経費節減にも限界があるため、やはり安定した営業収益の確保を優先した事業展開を望みます。

今後とも、平成24年3月に制定された第3期・米沢市水道事業中期経営計画に基づき、良質な水を安定的かつ継続的に供給できるよう、より一層効率的な事業経営を進められるよう期待するものであります。

最後に、米沢市公営企業会計決算審査意見書の69から70ページに記載しました市立病院事業会計の「むすび」から、決算の概要を御説明いたします。

当年度の患者数は、前年度に比べ入院患者数が2,343人減少し、外来患者数も2,221人の減少となりました。

医業損益は、前年度に比べ9,321万1,000円損失が増加した9億3,192万円の医業損失となり、医業外損益では、前年度に比べ6,147万円増加した5億248万3,000円の医業外利益となりました。

この結果、経常損益は前年度に比べ3,174万円損失が増加した4億2,943万7,000円の経常損失となり、この経常損失に特別損失1,358万3,000円を加算した当期純損失は4億4,302万円となりました。この当期純損失に前年度繰越欠損金88億7,240万7,000円を加算した当年度未処理欠損金は93億1,542万8,000円となりました。

なお、当期純損失は前年度に比べ27億6,224万6,000円の損失額減少となっていますが、前年度の当期純損失は会計制度変更に伴う一時的な減益額26億5,452万1,000円の影響があつての額であるため、この分を減じた純損失との比較では前年度に比べ当期純損失額は実質1億772万5,000円の損失額減少と算出されます。

経営分析指標では、前年度に比べ構成比率及び財務比率がほぼ横ばいも含め全項目において比率数値の悪化となりましたが、収益率については横ばいもしくは良化推移となりました。

当年度は、前年度に続き3年続けての赤字決算となりました。比較的好調だった平成24年度に比べ患者数の減少、収益減少、さらに費用の増加という経営努力を上回る収支損益悪化の状況が続いていると言えます。そして、キャッシュフローで見ると、現金預金残高が大きく減少しており、今後の病院運営資金不足が懸念されます。

従前からの命題である医師の確保・定着が大変厳しい状況であることは理解するものの、このたびの精神科閉鎖問題に見られるように、医師不足による診療科の縮小・廃止が続いており市民の負担・不安が増していることから、より一層医師確保対策の強化継続を要すると思われま

地域医療・福祉・介護との連携強化及び施設基準の充実に努めることにより診療収入を確保し、支出においてはさらに経費の節減に努めるなど、これまでも増して収支両面での経営改善策に取り組まれるよう望みます。

さらに、病院建てかえについては精神科閉鎖の影響で計画の再検討となりましたが、救急医療を担う地域の基幹病院として安全で良質な医療の提供に資するよう一層の努力を期待いたします。

以上が、決算審査の概要でございます。

各会計の個別の事項、細部にわたっては説明を省略しましたので、審査意見書をごらんくださいますようお願いいたします。以上です。

○海老名 悟議長 以上で決算審査意見書の説明は終わりました。

これより総括質疑に入ります。

ただいま上程された議案に対し、御質疑ありませんか。鳥海隆太議員。

○14番（鳥海隆太議員） 議第72号についてお尋ねいたします。

今年度、当年度というようなことで、未処分利益余剰金4億9,200万円弱が出ております。この出た要因というのは、先ほど市長からちらっと説明があったかもしれないんですけども、要因をお聞かせいただきたいと思っております。

○海老名 悟議長 宍戸上下水道部長。

○宍戸義宣上下水道部長 これまで27年度以前より剰余金が発生しておりますが、その主な部分については経営関係の主に必要な支出の面の部分で、収納関係ですとかそういった料金収納の主な部分について業務委託を出し、人件費の削減を図ってまいりました。それが主な部分であります。

また、経費関係の支出の部分についても、中期経営計画を立てているわけですけども、そういった計画の部分でも、さまざま支出の計画をきちっと進行管理をしているというところが主な原因だと思っております。

○海老名 悟議長 鳥海隆太議員。

○14番（鳥海隆太議員） 今の答弁はよくわからないんですけども、経営的な部分で、経営手法で圧縮したというようなことなんですかね。あと、大きいのが人件費と言っていましたけれども、人件費でこんなに出るものなんですか。

資料を持ち合わせていないのかなと思うんですけども、後で委員会には付託されませんが、この辺をちょっと詳しく御説明いただきたいなど。

今の答弁では、収納の何が上がったのか、収納率が上がったのかわからないですけども、その辺もちょっとよくわからないですし、説明いただきたいと思っております。

私がお聞きしたいのは、要因もさることながら、この処分方法なんですかね。積み立て、積み立て、繰り入れとなっているようなんですけども、この処分方法が正しい方法なのかなど。去年その前からいろいろと管の布設とか交換とか事業を計画的にやられてきて、このくらい利益余剰金が出てくるということは、そういった処分方法で正しいのかなと思うんですが、いかがでしょうか。

○海老名 悟議長 宍戸上下水道部長。

○宍戸義宣上下水道部長 詳しい資料を持ち合わせておりませんので、後ほど詳しく説明申し上げますが、先ほど、経営努力のほかにもありますけれども、大きく起債の関係の支出の部分で、やりくりが大変だったという時期がありまして、その部分について繰り上げの償還をしたりとか、そういった部分も経営関係の努力でありました。

また、会計の制度の変更がありまして、やはり鳥海議員がおっしゃるような、その部分の経常利益の処理の考え、その部分が変わった点がやはり一番大きいと思っております。

○海老名 悟議長 鳥海隆太議員。

○14番（鳥海隆太議員） 処分の方法なんですけども、もっといろいろと処分の方法は考えられるんじゃないかなと思うんですけども。全国的に見ても米沢市の水道料金、こういったものというのも高いとい

うような、上位から数えて何番目ということではないですけれども、普通よりは高いというようなこともありますし、積み立ての方もこれだけ必要なかというようなどころもあります。そういうところも踏まえて処分方法を今後考えていただきたいなと思います。いかがでしょうか。

○海老名 悟議長 宍戸上下水道部長。

○宍戸義宣上下水道部長 剰余金関係を毎年積み立てて、相当な額で基金の方に積み立てをしております。これらについては、現在館山浄水場の建てかえ関係、更新関係についての部分でさまざま検討しているわけでございますけれども、そういったものとか、今後、これまでもやっておりますけれども、拡張時代それぞれやってきたわけですが、その拡張期において布設した配水管の老朽化の対応ですとか、今求められている水道管の耐震性の問題もあります。そういったものについても、一気に短期にはできないわけで、継続してそれらの経費関係についてもそういった基金を充てていかなくちやならないと、そういうものの部分でストックをしているという部分もありますので、これについてはやはり安定した水道の給水というのが使命でありますので、広範囲にわたる市民の生活に必要な水道を安定的に供給していくためにも、そういった剰余金についても計画的に積み立てて処理しているというようなことでございます。

○海老名 悟議長 なお、議第72号につきましては、決算特別委員会に付託がなされておりますので、そちらでの審査・審議もお願いしたいと思います。ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○海老名 悟議長 よろしいですか。

それでは、総括質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案20件は、会議規則第37条第1項の規定により、お手元に配付しております議案付託表のとおりそれぞれ所管の委員会に付託いたします。

各委員会は、会議日程により慎重審査の上、来る9月29日の本会議にその結果を報告願います。

## 日程第27 請願の付託

○海老名 悟議長 次に、日程第27、請願の付託であります。

今定例会における請願提出期限の8月26日までに受理し付託いたします請願は2件であります。

会議規則第141条第1項の規定により、お手元に配付しております請願文書表のとおり所管の委員会に付託いたします。

所管の委員会は、会議日程により慎重審査の上、来る9月29日の本会議にその結果を報告願います。

## 散 会

○海老名 悟議長 以上で本日の日程は終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。  
御苦労さまでした。

午前10時50分 散 会